



新発田市立紫雲寺小学校

学校だより

5月15日号

<http://shionjies.shibata.ed.jp>

「大人」になる

校長 土田 志津子

気候がよくなってきました。昼休み、校舎周りを散歩すると、思い思いの遊びをしている子どもたちに出会います。体育館脇の松の木の下で7、8人の2年生が、寝転んだり座ったりしていました。近付いてみると、松の落ち葉を沢山集めてサークル型に敷き詰め、家のつもりで遊んでいました。「ふかふかじゅうたんだね。」と声をかけると、「ちくちくじゅうたんだよ。」と言って、寝転んでいます。日向のちくちくじゅうたんは、子どもたちにとっては、おもしろいものなのでしょう。また、中庭に行くと、1年生の子どもたちが、6年生の女子に遊んでもらっていました。手を繋いだり追いかけてっこをしたりして築山を駆けていました。きゃっきゃと楽しそうでした。同時に、第3ホールから応援歌の大きな声や太鼓の音が聞こえてきました。応援団の子どもたちが、休み時間を返上して、練習に励んでいました。

5月の全校朝会で、応援団の話をしました。

応援団の人たちは、4月18日の昼休みからずっと毎日練習していること、家庭訪問中も、早上がりせず4時ぐらいまで残って応援の仕方を考えたり応援歌の練習をしたりしていたことを、全校児童に伝えました。次に、赤白の応援団長と副団長に、どんなことを思って練習しているのかをインタビューしました。それぞれの団長、副団長は、「競技も応援も優勝をとりたい」や「みんなと一生懸命がんばって、思い出に残るような運動会にしたい」と立派に抱負を語ってくれました。このあと、「20分休み、昼休み、放課後、みんなが遊んでいるとき遊ばないで練習をしている応援団の人たちは、本当は遊びたいと思うときもあると思います。けれど、それを“がまん”して、みんなのためにできるというのが“大人”です。皆さんのおとうさんやおかあさん、おじいさんやおばあさんは、休みたいからからと言ってお仕事を休んだり疲れたからと言ってご飯を作らなかつたりしないと思います。誰かのために自分がしたいことを“がまん”できるというのは、“大人”になる準備をしているということです。応援団の人たちは、つらい部分もあると思いますが、終わったときは、きっと今の自分より成長した自分に成っています。がんばってください。」と話しました。最後に、応援団の人たちの気持ちを聞いて、思ったことを言える人いませんか？と、聞いていた全校児童に投げかけました。しばらくはシーンでしたが、1年生の由衣さんが、「応援団の人ががんばるのならわたしたちもがんばります。」と述べてくれました。続いて、2年生の珠里さんも、同様のことを述べました。

「みんなのためにがんばってくれている応援団に、協力しなければなりません。そういうことを思える皆さんも素晴らしい子どもたちです。人の気持ちを分かる子どもたちだから素晴らしいのです。みんなで運動会を成功させましょう。」と付け加えて終わりました。

6年生を中心に、応援団がまとまって仕事をしています。また、全校応援練習の開始前には、放送委員会の人たちが、集合放送を流してくれます。集会委員会の人たちは、ファミリー競技の準備・片付けを当たり前に行ってくれています。

19日(日)の運動会には、ぜひがんばってきた子どもたちに心からの声援と賞賛をお願いいたします。

交通安全教室

4月30日に、交通安全教室を行いました。

市の交通安全指導員の方々や交通安全母の会（PTA 教養育成部長の高橋さん参加）の方から道路の歩き方や正しい自転車の乗り方の実技指導をしていただきました。「横断歩道を歩いている最中、信号が点滅したら、慌てないで、早歩きで渡る。」や「手は、運転手さんに見えるように、左手でなく右手を挙げる。」「自転車で止まるときは、左足を着いて止まる。右足だと、走行してきた自動車にひかれる可能性がある。」など、具体的で大事なことを教えてもらいました。

登下校時、子どもたちは、れんぎょうパトロールの方々からも安全を見守っていただいています。この教室で学んだことを生かして、自分で判断して歩いたり自転車に乗ったりしてもらいたいと思います。



5年 田植えのご協力ありがとうございました。

5月8日に、5年生が、田植えを行いました。

J Aの石黒さん、PTA 会長の渡邊さん、PTA 副会長の坂井さん、風間さん、小林さん、5学年 PTA のみなさん7名や松田さんからお手伝いをいただき、無事田植えをすることができました。ありがとうございました。

手植えをしたことのある児童は33名中3名でしたが、お手伝いに来てくださった皆さんから、手取足取り教えていただいて、終わる頃には、植える手つきもかなり上手になっていました。

「…初めて足を田んぼの中に入れた時の感じが、すごく

くちゃくちゃしていて、足の間にすごく泥が入っていたから

土手の所に上がると、変な感じがした。…（略略）」などと、素足の体験もかなり子どもたちには印象深か

ったようです。秋の収穫まで、総合学習で取り組んでいきます。

【↓ 枠を転がして、苗を植える場所の印を付ける作業】



【↑ 苗を3、4本ずつ口の頂点に植える作業】

地区（通学班）連絡網の確認・・・今後もよろしくお願いします。

先日、PTA環境部主催「草取り」の中止連絡で使用しました。早朝にもかかわらず次の家庭へ連絡を回していただき、ご協力ありがとうございました。連絡がつかなかったご家庭や電話番号の変更による明記不備が1、2件ありましたが、思ったよりスムーズにまわりました。

今後も、自然災害時等でも使用しますので、以下の3点を確実にお願いします。

- ① 順番に次のお宅へ連絡する。
- ② 次のお宅が留守のときは、とばしてその次のお宅へまわす。（後ほど、連絡し直しをして、連絡漏れがないようにお願いします。）
- ③ 最後の方は連絡網が回ったことを、地区担当職員まで知らせてください。